

公益社団法人 東京都臨床検査技師会 平成 25 年度 第 11 回理事会議事録

日 時：平成 26 年 3 月 19 日（水）19 時 00 分～21 時 30 分

場 所：都臨技事務所

出席者：下田、千葉、小松、宮崎、高城、中西、鈴木、原田、三橋、工藤、土橋、蝶名林、佐藤、杉岡、小山、星野、東海林監事、立花監事、板垣役員選出委員

1. 理事行動報告

2 月 27 日（木）	学術部会	高城、蝶名林、
2 月 28 日（金）	編集委員会	高城、蝶名林、
3 月 3 日（月）	表彰選考委員会	千葉、小松、工藤
3 月 5 日（水）	会計部会	鈴木、土橋
3 月 5 日（水）	都臨技監理会議	下田、千葉、小松、宮崎、高城、中西、原田、鈴木、工藤、杉岡、多田、三橋
3 月 7 日（金）	組織部会	千葉、三橋、蝶名林、小山、松村、佐藤、原田、杉岡
3 月 13 日（木）	地域保健共催部会	佐藤、多田、松村、原田

2. 報告事項

(1) 平成 25 年度第 10 回理事会および第 10 回・11 回監理会議 の議事録確認
何かあればメールリストで連絡する。

(2) 各部局・委員会からの報告 各報告書参照

【報告事項】

○選挙管理委員会

平成 26-27 年度代議員選挙結果のお知らせ

代議員選挙の結果：総投票数 1512 票、有効票 1502 票、無効票 10 票 投票率約 35%

選挙結果の報告を 4 月 1 日都臨技 HP に掲載する。代議員に選出された立候補者の名前のみ掲載する。

各支部から選出されているので、開票後に転勤等で支部が変わった場合は、無効となり、欠員となる。

選挙管理委員会に意見・提案された選挙区に関する事項については内容が本委員会での審議範囲外にあたるため、理事会に対応をお願いします。

来期選挙管理委員会への審議引き継ぎ事項：①自宅会員の選挙区区分り②投票に伴う投票者の記名を無記名にするかどうか

○地域保健共催部会

看護フェスタについて事前配布資料：第 8 回部会報告では 5 月 18 日（日）としたが、日本医学検査学会と重なるため第 9 回部会報告の記載のとおり 5 月 17 日（土）に変更した。28 名程度を各支部より選出していただき 4 月 18 日までに名簿を看護協会に提出する。

○表彰選考委員会

選考結果：都臨技より推薦した福見秀雄賞候補の下村弘治氏は受賞された。また前都臨技会長小沼氏も他団体推薦で受賞された。小島三郎記念技術賞候補者は残念ながら受賞とはならなかった。

○組織部会

都臨技オリエンテーションは 4 月 23 日（水）に社会保険中央病院にて開催

各支部・学術紹介を行うので、学術に参加してもらう。

4 月以降社会保険中央病院は東京山手メディカルセンター（仮称）になるので案内時は注意する

今後この施設の会場は会場費が発生し、懇親会ができないようなので行わない。

○編集委員会

現在都臨技会誌印刷を依頼している東広社が休業となった。5 月号の印刷は元東広社職員が新しい就職先である日本興業社にて行う。現在日本興業社を含めて複数社に見積もりを取らせ、8 月号の印刷からは新しい業者に依頼する。次回の理事会にて審議をお願いします。

○その他

- ・マタニティーフェスタに都臨技より 16 名の参加協力者をえることができた。協力者には委嘱状が出る。
- ・第 7 回理事会で審議した公益社団法人書類提出委託の件
H25 年には法人登記費用が約 45,000 円であった。法人移行に伴い手続きが電子化され紙媒体の申請は不用になったが、簡単な作業ではない。阿川事務所に見積もりを取り、経費は 30,000 円で引き続き手続きを代行してもらう。

3. 審議事項

○庶務部

- ・新入会 3 名が提示され審議の結果、承認された。

○支部

支部運営規程（案）について、意見集約後、提示された案について承認された。

○地保部：地域保健共催部規程（案）について

- ・ 第 2 条 ……この法人が定款第 3 条に定める臨床検査の普及啓発を ……→定款第 3 条の臨床検査技術の研究開発を図るとともに ……出典の表現に合わせる。
 - ・ 第 2 条 ……公益活動を円滑に行うための企画運営を行う事を目的とする。→「企画運営」を削除
 - ・ 第 4 条 (5) その他会長が必要と認めた ……→理事会が必要と認めた ……
- 以上 3 点について修正を行い承認

○学会運営部：前回の理事会で講師費用についての規定について審議いただいた内容を規定に反映させた改訂案
現行の第 5 条 (3) について

- (3) 学会等による特別講演講師に対する支払いについては、理事会にて承認を得た場合に限り、謝金費用上限に対する前項及び前々項の規定は適用しない。
追加し、(3) (4) の項が (4) (5) と付番される
この改訂案について承認された。

○定時総会について

- ・ 第一号議案 H25 決算報告及び監査報告承認の件、第一号議案 平成 26・27 年度役員選任について
第三号議案 その他の議案 とする
- ・ その他の議案に会計規程変更案を含める
- ・ 議案審議終了後、事業報告、事業計画、予算についての報告事項承認を得る。
- ・ 4 月 10 日の監査報告まで含め 5 月号に掲載する。
- ・ 4 月以降社会保険中央病院は東京山手メディカルセンター（仮称）になるので名称を確認して記載する。
- ・ 議案書を別刷りして当日配布用とする。100 部
- ・ 今までは無料であったが、4 階講堂会場費：5,000 円/1H、イス：1 万円/100 脚、プロジェクター 5000 円/1H、2 階研修センター 5,000 円/1H が発生する。会場での懇親会は行えない。
- ・ 議長候補者を準備する。

○事業計画案について

- ・ 事業計画内の会員数は 5,000 名（正会員 4500、学生 340）とする。
- ・ 1. 総論 1) (5) は 3) の最後に入れる。
- ・ 3. 臨床検査普及啓発事業 の支部学術研修会に関する記載は開催予定月（6. 4）になる）も合わせて 6. 支部学術研修会に移動する
- ・ 6. 倫理高揚…を 7. とする。
- ・ 7. 機関誌の発行事業を 8. 学術誌の発行とする。発行部数は現行の 4700 とする。
- ・ 8・学会運営部は 6. の 4) とする
- ・ 9. ホームページ運営事業は情報提供事業とし 8. に繰り上げる
- ・ 役員候補者名の施設名、支部の変更を行う
- ・ フォント、頭出し等の書式をそろえる。
→以上の理事会での審議の結果、承認とし、本日承認の日付を記載する。

- ・ ○会計部
- ・ 平成 26 年度予算案について、会計部長より提示され、説明がなされた。
- ・ 科目は議案書に合わせる。年度の訂正。
- ・ 学生会員数は約 100 名とし、会費 500 円を学生会員会費として計上する。
- ・ 東京都からは予算と事業計画の執行率を上げることを求められている。そのため事業計画を増やし確実な執行が求められる。
- ・ 事業活動収支が 620 万その他の収支差額が 310 万で 1000 万の赤字予算となる。理事会として負債の責任を負わねばならない。
- ・ 事業計画を前年度より増やしている。前年度並み執行率 80%として積立分を圧縮して吸収されると考える。
→以上の理事会での審議の結果、承認とし、本日承認の日付を記載する。微修正はあるものの承認された。

○事務局より

1) 会費規定についての変更点

- ・ 再入会に関する規定の追加
- ・ 入会金不要の提案

・ 他府県からの異動入会（再入会）に関する規定の追加

現在再入会や他府県からの異動についての現行の運用が会費規定に記載されていない。

第 3 条の「入会」をすべて「入会あるいは再入会」とする。

2 に「ただし、会費納入済みの当該会計年度中の再入会に限りこれを免除する。」を付け加える。

「4 会計年度途中で他道府県技師会の正会員が入会よりあるいは再入会するときの会費は、当該会計年度 1 箇年分を免除するものとする。」を追加する。

第 4 条 について「入会金は不要とする」のみに変更する。第 7 条：入会金の減免の項を削除、第 8 条を繰り上げ第 7 条とする。

附則 この規程は平成 25 年より実施する。→平成 26 年 4 月 1 日より実施する。

総会での変更承認になるので改正日は平成 26 年 6 月 24 日とする。

→総会で決定されたら平成 26 年 4 月 1 日にさかのぼって返金することを説明する。

→この会費規程案を総会にかけることで承認された。

2) 学生会員の承認

今年度入会した 108 名について承認された。

3) 学生会員から正会員になる際の入会金免除について

- ・ 「入会金は不要」とするので、学生会員に限らず平成 26 年度 4 月 1 日からの入会で、日臨技入会手続きの関係で入会金が引き落とされた場合はすべて返金する。
- ・ 入金者全員に返金用口座を連絡するよう案内文を送って、返信料、振込料負担で返金をする。
- ・ 案内を送るときに次年度の引き落とし手続きの案内も添える。

4) 学生会員数の把握について

- ・ 学生会員は学生証と学生会員証がセットで有効。学生会員に登録された後、卒業等で学生ではなくなった正確な数が把握できない。
- ・ 登録時の記載より、協議会の先生を通して学校にお願いし、卒業生の数を把握することを試みる。
- ・ 正確な数を把握しようとした結果の概ねの数で了承された。

○日臨技学術組織 支部学術部門委員の選任 資料：日臨技学術組織設置要綱参照

- ・ 日臨技で学術企画委員会を設置、支部学術部門として 9 部門を設置する。各支部内都道府県技師会より部門委員を選出することになり、各研究班より会員を選出している。
- ・ 部門委員の条件として①生涯教育研修制度修了者②日臨技、支部（地区）学会で筆頭発表経験がある③都道府県技師会での学術活動経験が 5 年以上あること、であり、条件を満たす見込みである会員も含めて資料に示すように選出作業を進めている。

生物化学分析部門

←免疫血清研究班+臨床化学検査研究班より

臨床一般部門

←一般検査研究班より

臨床血液部門

←血液検査研究班より

臨床微生物部門

←微生物研究班より

輸血細胞治療部門

←輸血検査研究班より

病理細胞部門 ←病理細胞診検査研究班より
染色体・遺伝子部門 ←研究班がないので別途探す
臨床生理部門（神経生理、循環生理、超音波分野）←生理研究班より
臨床検査総合部門 ←臨床検査情報システム研究班、公衆衛生検査研究班より

→選出作業を進め、理事会承認後日輪後学術企画委員会に提出する。

○H26.27年度学術部研究班および支部幹事名簿案

- ・ 都臨技会員であることが前提である。確認及び未登録の場合申請を必ず行う。
- ・ 学術部研究班については4支部のバランスを検討した案になっている。
→支部を記載しておく
- ・ 支部幹事については本日承認された規程に則り担当を決定する。

○各委員会の構成メンバー

- ・ 公益移行推進委員会はその役目を終了した。
- ・ 表彰選考委員会、役員選出委員会、選挙管理委員会はその目的に必要な人を選出したい。
- ・ 支部重視とそれ以外の委員会に監理会で振り分ける。
- ・ 理事会にかけ、支部長が中心になって人選を行う

○共催許可願

- ・ 血液検査研究班→了承された

○私立医科大学臨床検査技師会学術講演会 HP 掲載依頼→了承された

4. その他

小松副会長 より

H26年10月3日～7日で国際学会が行われる。抄録締め切りは4月一杯である。日臨技を通して申し込むとサポートが受けられる。積極的な発表と参加をお願いする。

平成26年3月19日（水）
公益社団法人東京都臨床検査技師会

議長 下田 勝二 
(下田)

監事 東海林 治三郎 
(東海林)

監事 立花 勇一 
(立花)